



一般社団法人 三重県聴覚障害者協会



「ヒゲの校長」
谷進一監督

↑2023年5月14日(日)〈伊勢〉
第76回三重県聴覚障害者福祉大会



全日ろう連
理事就任⇒



↑2023年6月8日(木)~6月11日(日)
第71回全国ろうあ者大会 in おおいた



←卓球競技
女子団体優勝



2022年11月20日(日)~21日(月)
第34回東海聴覚障害者体育大会(静岡)



↑2023年11月12日(日)
みみフェスティバル2023 in 松阪

2023年11月20日(月) ⇒
「日帰り旅行」〈京都〉



わたしたち三重県聴覚障害者協会は聴覚障害者に豊かな知識と正確な情報の提供を行うとともに、会員相互および一般社会との連帯を深め、聴覚障害者の社会参加を円滑に進めることを目的とし、1947年(昭和22年)1月3日に結成しました。1991年(平成3年)4月1日には三重県知事が社団法人として認可、2014年(平成26年)4月1日に一般社団法人に移行した聴覚障害当事者の法人団体です。ろう者と支援者がお互いに助け合って仲間を広げ、結成以来77年にわたって聴覚障害者の社会参加と平等のために運動を続け、さまざまな権利を勝ち取ってきました。2012年4月1日には長年の運動が実り、聴覚障害者情報提供施設である三重県聴覚障害者支援センターが津市に設置され、当協会がその指定管理者となり、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいます。

三重県手話言語条例は、聴覚障害の有無にかかわらず県民が相互に人格と個性を尊重し、安全かつ安心して暮らすことのできる共生社会の実現を図るために議員提案条例として2016年6月30日に制定され、翌年4月1日に施行しました。2021年3月には「遠隔手話通訳サービス事業」がスタート、2022年1月には手話通訳者を付けた運転免許更新講習「特定任意講習」がスタート、現在も継続しています。

依然、さまざまな壁がありますが、これからも関係団体の皆さまとともに決して諦めず立ち向かって活動していきたいと思えます。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



<2024年度 三重県聴覚障害者協会の運動方針>



1. 権利

- ①県内各市町の手話言語条例制定を積極的に支援
- ②差別解消や合理的配慮がなされる社会づくりに向けて、聴覚障害問題への理解促進
- ③「手話マーク・筆談マーク」の普及、自由にコミュニケーションを取りあえる社会の実現

2. 手話言語

- ①三重県手話言語条例で求められる施策の完全実行
- ②すべてのろう乳幼児とその保護者が適切な情報提供を受け、手話言語に触れ、その獲得・習得の機会を確保する支援施策
- ③手話通訳者、要約筆記者、手話奉仕員、盲ろう者通訳・介助員の養成や派遣など、意思疎通支援事業の周知と拡大
- ④手話通訳者、手話奉仕員養成の担当講師の指導力や教授法の向上を図るための育成の強化
- ⑤聴覚障害問題や手話などに関わる出版物の販売促進

3. 生活

- ①ろう者の就労環境の向上、ろう教育の充実を求め福祉や労働・教育問題に取り組む
- ②高齢聴覚障害者、介助が要る聴覚障害者が安心して暮らせる施設設立
- ③アイ・ドラゴン4等の日常生活用具給付の拡大
- ④ろう児・高齢ろう者の豊かな文化的生活の支援
- ⑤三重県聴覚障害者支援センターの運営管理及び発展
- ⑥災害時に被災ろう者への支援を行える体制を確立



4. 仲間

- ①会員拡大(会員305名、賛助会員160名)への取り組みと、会員及び賛助会員へのサービスや支援の提供
- ②学校に通っている聴覚障害者や、ろう学校とのつながりを深める
- ③福祉大会とみみフェスティバル、手話フェスティバルや単発事業の継続、発展
- ④文化活動やスポーツ活動の奨励
- ⑤日聴紙やみえデフNEWS、季刊MIMIの購読者拡大、ホームページの閲覧者増加
- ⑥きこえない子どもや選手たちへ夢を与えられるようデフスポーツ・サポーターを拡大
- ⑦三重通研、県サ連、三重難聴、全要研三重県支部&三重要連、あゆむ会、さらりの会との連携
- ⑧第35回東海聴覚障害者体育大会・第8回東海聴覚障害者大会 in みえの開催成功



<事業内容>

- 一般事業・・・会員への情報発信、機関紙の発行事業、各種行事の開催(福祉大会、単発事業、手話フェスティバル、スポーツ大会、みみフェスティバル、学習会など)
- 出版事業・・・手話に関する書籍、DVD、ビデオやろう運動に関する書籍の販売
- 委託事業・・・障害者スポーツ大会選手育成強化事業
- 指定管理者委託事業・・・三重県聴覚障害者支援センター
- その他・・・専門部(体育・青年・女性・高齢)事業、共同委員会・小委員会活動など



<当協会が発行する書籍等>

- ◎みえの手話DVDセット 1,000円
- ◎手話カレンダー 300円 ※収益の一部を聴覚障害児・高齢聴覚障害者支援活動、2029年全国ろうあ者体育大会 in みえ開催資金に充てています。
- ◎手話トイレットペーパー 1個300円/2個セット500円→→2029年全国ろうあ者体育大会 in みえ開催資金に充てています。



<沿革>

- | | | |
|--------------|-----|--------------------------------------|
| 1947年(昭和22年) | 1月 | 当協会の前身となる「三重ローア倶楽部」結成 |
| 1948年(昭和23年) | 1月 | 当協会機関誌「三重ローア會報」創刊 |
| 1948年(昭和23年) | 1月 | 全日本ろうあ連盟と近畿ろうあ連盟に正式加盟 |
| 1958年(昭和33年) | 3月 | 近畿ろうあ連盟を脱退し東海ろうあ連盟に加盟 |
| 1978年(昭和53年) | 11月 | 鈴鹿市で「全国ろうあ婦人集会」初開催 |
| 1980年(昭和55年) | 7月 | 伊勢市で「第1回手話劇コンクール」開催 |
| 1986年(昭和61年) | 11月 | 鈴鹿市で「全国ろうあ青年研究討論会」初開催 |
| 1989年(平成元年) | 9月 | 伊勢市で「全国ろうあ者体育大会」初開催 |
| 1989年(平成元年) | 10月 | 三聴障新聞が第三種郵便物に認可 |
| 1991年(平成3年) | 4月 | 念願の法人化、「社団法人三重県聴覚障害者協会」に改称 |
| 1994年(平成6年) | 6月 | 四日市市で「全国ろうあ者大会」初開催 |
| 1996年(平成8年) | 8月 | 鈴鹿市で「全国手話通訳問題研究集会」初開催 |
| 2008年(平成20年) | 2月 | 津市で「全国手話通訳問題研究討論会」初開催 |
| 2012年(平成24年) | 4月 | 三重県聴覚障害者支援センター設置 |
| 2014年(平成26年) | 4月 | 「一般社団法人三重県聴覚障害者協会」に移行 |
| 2015年(平成27年) | 8月 | 鈴鹿市で「全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in みえ～」開催 |
| 2016年(平成28年) | 6月 | 「三重県手話言語条例」が東海で初めて成立 |
| 2017年(平成29年) | 4月 | 「三重県手話言語条例」が施行 |
| 2021年(令和3年) | 3月 | 「遠隔手話通訳サービス」事業が実施 |
| 2022年(令和4年) | 1月 | 手話通訳者を付けた運転免許更新講習「特定任意講習」を開催 |
| 2022年(令和5年) | 4月 | 当協会ホームページ開設 |
| 2022年(令和5年) | 9月 | 伊勢市で「第52回全国ろうあ女性集会 in M I E」開催 |
| 2023年(令和6年) | 11月 | 松阪市で「みみフェスティバル2023」初開催(アウトドアイベント) |



＜ 傘下協会・会長・会員数 ＞

2024年3月25日現在

団体名称	会長名	会員数	賛助会員	団体名称	会長名	会員数	賛助会員
いなべ市・東員町聴覚障害者福祉協会	伊藤 作夫	21名	8名	伊勢市聴覚障害者福祉協会	大屋真理子	28名	45名
桑名市聴覚障害者協会	上村かおり	17名	5名	伊賀市聴覚障害者協会		2名	5名
四日市市ろうあ福祉会	山本 喜秀	69名	19名	名張市聴覚障害者協会	藤山めぐみ	7名	2名
鈴鹿市聴覚障害者協会	大石 美幸	64名	24名	紀南聴覚障害者福祉協会	塩崎 美紀	3名	5名
津市聴覚障害者福祉協会	吉田 保則	49名	24名	事務局		6名	3名
松阪市ろうあ福祉協会	深川 誠子	34名	10名	※2023年度→合計		300名	151名

＜ 関係団体 ＞

- ◇三重県難聴・中途失聴者協会・・・難聴・中途失聴者の福祉の向上と親睦を図る
- ◇三重盲ろう者きらりの会・・・盲ろう者の自立と社会参加の促進、また盲ろう者に深い理解を持つ社会を作ることを目指す
- ◇三重県手話通訳問題研究会・・・手話および手話を通じて聴覚障害者に関する諸問題を学び、手話通訳保障を確立し聴覚障害者の生活と権利を守る
- ◇三重県手話サークル連絡協議会・・・県内各手話サークルの交流と質的向上をめざすとともに、聴覚障害者の生活と権利を守る
- ◇三重のろう重複者と共にあゆむ会・・・ろう重複障がい者に対する理解を広め、その家族を含めて福祉の向上をはかることを目的とする
- ◇特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会三重県支部・・・情報保障としての要約筆記に関係する問題を研究し要約筆記関係者の要請にこたえていく
- ◇三重県要約筆記サークル連絡協議会・・・県内の要約筆記サークルの交流と聴覚障害者に関する諸問題を学び、要約筆記による情報保障について研究し向上をめざす

＜ 三重県の情報保障者の現勢 ＞

※数値は全て2024年3月25日現在

三重県登録手話通訳者 **116名** (このうち厚生労働大臣公認手話通訳士 **42名**)
 三重県登録要約筆記者 **69名** 盲ろう者通訳・介助員 **69名**

2023年度のトピックス



■ 多様な社会参加の促進で生きがいを高めよう!!

本会は聴覚障害者の福祉をより向上させるため、耳の聞こえない人たちがお互いに助け合い1947年(昭和22年)1月3日に「三重県ローア倶楽部」として結成し、1991年(平成3年)に「社団法人三重県聴覚障害者協会」として法人認可されました。その後、聴覚障害者の社会参加と平等を推進すべく77年間努めてまいりました。当協会結成当初からの目的である「聴覚障害者に豊かな知識と正確な情報の提供を行なうとともに、会員相互および一般社会との連帯を深めることにより、聴覚障害者の社会参加が円滑に進められること」については、今後も変わることなく取り組んでまいります。



■ 当会の2023年度事業の活動、歴史と伝統を受け継いでいこう!!

2017年4月1日に施行され7年目を迎えた三重県手話言語条例には、県の責務や市町・関係機関との連携・協力や県民及び事業者の役割が定められています。当会では条例にのっとり県民手話講座15回、県職員等研修5回の事業を実施しました。



5月14日(日)には、緑豊かな伊勢市御園町のハートプラザみそのにおいて、第76回三重県聴覚障害者福祉大会を開催しました。伊勢市聴覚障害者福祉協会と伊勢地域手話サークルのご協力のおかげで、280名の参加者をお迎えし無事に終了することができました。11月12日(日)には、松阪農業公園ベルファームにおいて、みみフェスティバル2023を開催しました。2022年度までは固定の会場で開催してきた三重県ろう者文化祭でしたが、広く県民に聴覚障害への理解を広めるため、開催地を県内輪番とイベント名称も変更いたしました。初めて手話にふれる方など、多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。

新年度は会員の高齢化や若者の減少を見据えつつ、聴覚障害者が今よりもっと自分らしく生きられる未来を求めて取り組んでいきたいと思っております。そのためには結成77年の歴史と伝統を受け継ぐとともに、経験を確実に次世代に引き継ぐ必要があります。



いつでも、どこでも、誰でも自由に情報保障がされ豊かな暮らしを営めるように、聴覚障害者に対する理解をさらに促進したいと考えています。



これからは聴覚障害者の社会参加や福祉向上への取り組みを継続的に進めていくために、ぜひとも皆さまに支援していただきたく、賛同していただける方に入会をお願いしております。当協会の特典内容もさらに工夫してまいります。

新年度は会員の高齢化に対して10年先を見据えつつ、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいきたいと思っております。また、組織の理念を重んじ結成77年の歴史と伝統を受け継ぐとともに、経験を確実に後世に引き継ぐ事が必要ではないかと考えています。

<名誉職・理事・監事・諮問委員> 2024年度

理事14名（会長・副会長・常務理事・事務局・経理部・組織部・コミ対策部・

文化事業部・社会福祉部・体育部・青年部・女性部・高齢部）

参与1名・相談役2名・監事2名・諮問委員36名（2024年4月1日現在）

<関係会議>

三重県障害者施策推進協議会、三重県障がい者差別解消支援協議会、三重県障がいスポーツ協会、三重県立聾学校評価委員会、公益社団法人三重県障害者団体連合会、聴覚障害者災害救援みえ本部、三団体会議、医療委員会、制度委員会、手話通訳問題研究討論集会、全国手話検定試験地域試験委員会、手話言語条例委員会、三重のろう重複者と共にあゆむ会、他

<小委員会>

コミュニケーション委員会、手話研究委員会、社会福祉部委員会、文化事業委員会、体育部委員会、編集委員会、予算決算委員会、「咲む」みえ委員会、販売企画事業担当、倫理・表彰委員会、デフスポーツ・サポーター委員会



種類	会費	項目	三聴障協会費	分担金	協会機関紙 ※別途徴収
正会員	16,000円	昭和34年4月2日以降生まれの方	12,000円	分担金合計 4,000円 会費より 全国や東海に 支払います <内訳> 全日ろう連 3,500円 東海聴連 500円	1,500円
夫婦会員	30,000円	昭和34年4月2日以降生まれの夫婦	22,000円		500円
高齢会員	12,500円	昭和34年4月1日以前生まれの方	8,500円		1,500円
特別会員①	7,000円	生活保護受給者 ※生活保護受給証明書が必要	3,000円		1,500円
特別会員②	11,000円	大学生、専門学校などに在籍している聴覚障害者。ただし、勤労学生を除く	7,000円		1,500円
特別会員③	7,000円	中、高等部に在籍している聴覚障害者	3,000円		1,500円

※いずれも一般財団法人全日本ろうあ連盟分担金3,500円と東海聴覚障害者連盟連分分担金500円を含む。

※みえデフNEWS年間購読料（正・特別会員1,500円、夫婦会員500円）は別途徴収します。

第三種郵便物の承認条件数事情により満たないため夫婦は2部配布しています。ご理解ください。

●賛助会員 個人 5,000円

～特典～

- 1、運動方針・総括・決算会計報告書の送付、総会の傍聴
- 2、みえデフNEWSの送付（年間購読料1,500円を含む）
- 3、当協会主催行事の参加費特典（福祉大会、手話フェスティバル等）
- 4、厚生労働大臣認定手話通訳士試験の合格御祝金授与



●賛助会員 団体・企業 15,000円

～特典～

- 1、みえデフNEWSの送付（年間購読料2,500円を含む）
- 2、当協会主催行事（福祉大会、手話フェスティバル等）ブース提供
- 3、当協会ホームページにリンクやバナーの掲載



<事務局就業時間帯・問い合わせ先>

〒514-0003 三重県津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館5階

平日 9:00~12:15 13:00~17:15

※土・日・祝 事務局が定める休局日は休業します。

FAX 059-223-4330

TEL 059-229-8540

E-mail deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

H P https://deafmie.com/

ブログ http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/

YouTube https://www.youtube.com/channel/UCzJle91pwl7WWquXqzylhvQ

【HP】



【ブログ】



【YouTube】



「三聴障協会費」「みえデフNEWS」「出版物」「手話カレンダー」などの振込

振込口座：百五銀行 津駅前支店 普通 151192

口座名義：イッパンシャダンハウジン ミエケンチョウカクショウガイシャキョウカイ